

進む高齢化～お年寄りが地域で安心して暮らし続けられるために～

— 健康福祉部 —

●単身・高齢者世帯関係

一人暮らしの老人になった場合は、家族が電話を毎日してもらおうとかして所在をはっきりさせていくとよいと思う。
単身・高齢者の施策として4項目のサービス実態をお聞かせください。
高齢者の方の単身での生活が、一番支援が必要と思われますが、新聞配達業者に参加してもらう案には良いと思いますので、実施してもらいたいと思います。
単身高齢者に対しては所在地、近親者への連絡先等がわかる様に（先月NHKでやっていた）のを参考に。
単身・高齢者世帯に異常等があった場合に新聞配達をしている事業者と締結し連絡をしてもらおうとあるが、新聞を購読していないお宅の異変はわかりません。私は他の市で新聞を配達していますが、実際異変に気づき家中で亡くなっているという事が3度ありましたが、そのお宅は購読しているお宅だったので気づきました。単身、高齢者の方は「目が悪い」とか購読料が払えないという方が現実です。購読料を一部でも町が負担するとか何らかの対応がなければ無理だと思います。
単身高齢者宅での夜電灯使用の有無などの情報から身近に異常があったかどうかの判定ができるようなシステム（テレビでやっていた湯ポットの使用有無とかも）があれば孤独死を防ぐことができるのではないのでしょうか。
高齢者との近所づきあいが重要と考えるが、高齢者の人でも付き合いがらない人も多くいるのでそのような人とのコミュニケーションをいかにしていくか！
分別収集時にスタンプカードにスタンプを押して」いるが、受付をすることで、異変に気付くこともあるかも。（1ヶ月出しにこないとか…）
①独居高齢者に対する隣地（廻りの人達）との係わりを持つような行政区としての取組みに町の支援はどんな事が考えられるか。 ②高齢者を持つ各家庭への負担を軽減する＝デイサービスの充実を計って欲しい（健康であるが、各家庭での介護に頼らざるを得ない）。
元気なお年寄を活かす事業や取組みを教えてください。お年寄りの安否確認をするネットワークがありますか（要介護者を除く）…6ページの施策等をまとめ、フィードバックする方法。
一人宅の訪問はどの様に現行はされています？
見守り隊推進事業 対象者への働きかけはどうしていく予定ですか（見守られることを拒否される世帯が増加している）。
緊急時における緊急方法 or カードの携行品の作成（住所・氏名・生年月日・血液型・常備薬名・掛かりつけ医院・緊急連絡先等記入されたもの）。
北名古屋市の方から聞いたことですが、水道メーターと電気メーターに一定時間以上の使用停止や使用量が同量で長時間続くと、アラームにより異常を知らせるシステムがあると聞きました。大口は検討済みですか？
・昼間の高齢者世帯、単身高齢者の問題はどのように考えているか。 ・町は把握しているか？ ・65才は高齢者か？ 一考を要する。元気である。 ・従来の単身高齢者世帯の施策、今年度からの新しい推進事業のPR不足で一般住民はあることも知らない。もっとPRすべき。
子に対して何か義務を課したらどうか。電話連絡等。

東京世田谷区TV 11月22日(月)夜NHK 有料民間企業へ400人登録 月/3500円払い 個人負担/350円で夜間も24時間ヘルパー派遣できる。大きなブザー型ボタンでセンター職員と直接話せる。派遣依頼も。

【回答】

まず、単身・高齢者世帯の見守り等について数多くのご提案やご意見をいただきましたことに、お礼を申し上げます。ご提案いただいた案件については、情報収集を行い、実際に大口町で活用できるかを検討していきたいと考えております。

社会構造の変化と寿命が延びたことに伴い、確実に大口町でも単身・高齢者世帯が増加しております。地域懇談会の中でもお話をさせていただきましたが、町だけで単身・高齢者世帯の見守り等を行うことは不可能です。単身・高齢者世帯の方々の自助と地域の住民の方々や各種団体の互助と行政の公助の3つの力を合わせていかなければ単身・高齢者世帯の見守り等を行っていくことは不可能であると考えております。

また、一つの手法だけで単身・高齢者世帯の見守りが万全に行えるということはないと考えております。本年度大口町では、新聞、郵便、ヤクルト、牛乳配達の事業者と単身・高齢者世帯の見守りの協定を締結させていただきます。これにより、配達時に単身・高齢者世帯に異変があった場合は、町の方に連絡をしてもらうという仕組みを作ります。

新聞配達や郵便による見守りも「新聞を取っていないければ見守れない。」というご意見がありましたが、少なくとも新聞を購読している方の見守りは出来ます。

確かに協定を締結するだけで、すべての単身・高齢者世帯の見守りが万全とは言えません。広報を配布するときに、単身・高齢者世帯にはポストに入れておくのではなく、必ず手渡しでお渡し、そのときに顔をみて安否確認をするなどを数多くの方法を重ね合わせることで、安全で安心して単身・高齢者世帯が地域で生活していけると考えております。

●高齢者を支える地域関係

若い世代間では横のつながりが希薄になっておりマンション等世帯では隣の人も知らない状況にある。 “元気な高齢者がそうでない高齢者世帯を見る” “井戸端会議” 出来るような場所・機会の整備。
地域の力が必要とされるテーマだと思う。この場での意見交換は困難なので、別の機会を作り、自治組織やNPO、住民と話し合いの場を持つと良いのではないのでしょうか。
事例をお聞きして身近な人が気を付けて見守ってあげる組織が必要と考える。
区長・自治会・老人クラブ・民生委員さんなどが協力(財源)する為にも集う行事作り訪問。お金が必要!!
これはさけて通れないテーマなので自治会などが中心に、対応していかなければいけないと思った。
民生委員さんの負担が多いのでは(?) プライバシーの面もあり難しい。さつきヶ丘ではふれあい行事で集会所でのサロンが定着していますが、元気で参加される人は良いのですが…。大きな地域にするときめ細かな対応が出来ないのではないかと。
地域で支えるための勉強会へは若い方も参加が必要と思う。区長・民生・老人クラブ以外子どもから老人まで皆で支え合う地域が理想化と思う。
各戸各地区にて高齢者マップを作ったら? Ex ①90才以上赤色、80代黄色、70代緑色 ②各戸に2人健在なら 90代一人なら男:健在女:死去 ③外出の折、ころんで動けない場合の確認方法 杖に発信機付き又は点滅式装置をつけたもの支給又は半額支給 etc. 反射シール付きでも可か ④万一の折、救助を要する又は場所を移動した折、合図となる旗 etc. の配布はどうか。
民生委員、老人クラブ員といっしょになって地域の人々で助けあう。

高齢化が進む昨今の社会、今後もさらに進むことによる高齢化のご家庭へ訪問、声かけと顔見せ運動（町独自）を展開したらいかがでしょうか。
家族（親族）が第一に考える問題だと思う。その家族を支えることも地域、行政が手助けする必要があるのではないか。
個人情報地域に下さい。もっともっと行政に協力できる。
現実的高齢化社会はくるので高齢者が社会参加できる組織づくり、機会を作ってほしい。
民生委員がボランティアで動いてもらっていますが、手当等を出すべきでは？
我々の地区では民生委員一人です。これから高齢化社会で高齢者も多くなると思う。委員さんを2名以上で活動に力を入れたらどうか？
地区班は10～12人です。3班位35人位を1チームに2人位係りを作り、高齢者を見守る。
退職後の高齢者の利用。（ボランティア）活動に？
老人になる前からの関係づくりが必要。急に何かしようとしても老人が受け入れられないのではないか。老人が外に出ることが一番と思う。車を運転できなくなった時のことが心配です。
資料を読むだけでなく、伝えたい事のわかり易いお話でとても聞きやすかったです。唯一眠くならずに関心しました。組織やシステムも大切ですが、基本は「お互い様」の気持ちがより良いまちを作るのだと思います。“遠くの親戚より近くの他人” お隣さん、ご近所さんを大切にしたいと思います。

【回答】

今回の地域懇談会で、住民の方々が、高齢者を地域で支えるという意識を持っていただいていることを知り、大変心強い思いを持っております。

先にも述べさせていただきましたが、高齢者を支えていくには、町だけでは不可能です。高齢者の方々が自ら努力され、地域の住民の方々が見守り支え、町も施策として支援していくという3つの力を合わせていかなければ、地域の高齢者を支えていくことは不可能であると考えております。

これから益々増加する高齢者を支えていくには、地域の住民の方々の役割は大変重要になっていくと考えています。しかし、小さなこの大口町でも地域のあり方は様々です。それぞれの地域に合った高齢者を支える仕組みを地域で作っていくことが大切であると考えます。

今年度から区長さん・民生委員さん・地区の老人クラブの方々に集まっていただき、研修を行って、地域の住民の方々と共に地域で高齢者を支える仕組み作りの検討会を始めて行きます。

●介護サービス関係

老人介護施設を利用させてもらっているが、介護職員の働きには頭が下がる。彼らの給料を上げる方法はないか。
老人ホームの増設はどう考えているか。
施設入所、施設利用の介護もちろん必要ですが、昔のように在宅介護、地域介護も必要になります。地域介護を始めるにあたり、行政の援助についてはいかがお考えでしょうか？
グループホーム入所者のおばあさんが家出をして探したが見つかることができなくて、区の方へ連絡が入り皆さんで手分けをして捜索したところ、翌朝無事保護されました。以前にもこのような事があったとのこと。同じようなことがないように管理体制をしっかりとやっていただくようお願いしたい。
現在の介護保険の状況は。

【回答】

老人ホームの増設については、町は3年に1度、高齢者福祉施策や介護保険料や介護サービス基盤整備を定めた高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定しており、本年度計画策定のために「40歳～64歳の方」、「65歳以上の方」、「単身・高齢者世帯の方」、「在宅で要支援・要

介護認定を受けてみえる方」、「介護支援専門員」にアンケート調査を実施しております。

アンケート調査の結果を分析し、今後の高齢者福祉施策や介護保険料や介護サービス基盤整備を進めてまいります。

また、ご質問にありますグループホームの入所者の徘徊については、年に6回地域住民と行政を交えてグループホームと話し合いを行っております。その中で徘徊の防止について、センサーの新たな設置等や施錠等の確認の徹底などが改善策として、既に実施をしております。

しかしながら、グループホームの利用者が今後絶対に徘徊を行わないとは言えません。塀を高くして、外界の出入りを遮断するようなことは、決してグループホームの利用者には、良い処遇とは言えません。グループホームの利用者を地域住民の方にも理解していただくことも重要であると考え、今後もグループホームと共に地域の住民の方々に開かれた施設を目指していきます。

その他にも、様々なご意見、感想をいただきました。個々へのコメント、回答はできませんが、今後の参考とさせていただきます。

私自身も高齢者の仲間になったので不安です。
個人情報の問題に妨げられていないか。
高齢化社会の話は身近な問題である為、いろいろ考えさせられました。
高齢者の流入？他の市町に住んでいた人が大口町へ単身(78才)で入居された。大口町で長く生活してそして年齢が高くなって介護を受ける人と、本来違うのではないだろうか。これをも含めて高齢者の保護等を考えていかなければいけないのでしょうか？
地区懇談会にも参加できずにいるお年寄り、または単身高齢者世帯についてどうフォローしていくのか難しい問題であると考えました。
大口町独自の年金制度及び医療制度の確立。
個人情報との関係で一人暮らしの人が不明です。どこに誰が住んでいるのか？気をつけてみる事も出来ない。民生委員と厚生婦人部との助成金の違いで不満が出ています。
説明の趣旨が不明となり近所の交流が要とだけ(当たり前)。
表の作り方 何が言いたいのか。それが判る表にする。高齢化社会・超高齢化社会…。
少子高齢化を防ぐ方法として出産率を増加させるのも手段のひとつと思いますが、安心して子どもを成長させる事の施設を強化拡充してほしい。
地域に近い集会場を利用したいと思っていますが、学供とは違い、多く使用すればするほど電気代等がかかる、高齢者にお願いする事は考えられない。町として考えてもらう事はできないか？
安心して暮せる規準は係数%ではなく、それぞれの身の辺の環境によりけりと思うのですが、何も高齢者だけの問題ではないと思うし、如何でしょうか。真の安心できる抜本的が聞きたかった。
老人力の活用を望む。2012 年問題といわれているが、60～65 才まで働いてきて定年とかで仕事を離れる人が一般的でしょう。その間、それぞれ色々な職場で蓄積されている経験や技術を社会へ(今までは会社を通して)貢献出来るシステムの構築。・ピンピンコロリンプロジェクトの構築。・誕生祝、入学祝等の施行。
参加者全員が高齢者です。
住民の行方不明があった時どのような手順で捜査すれば良いかある程度の住民にわかる様にしてほしい。
単身高齢者世帯が何故こんなに増えるのか、家族で支え合うセーフティーネットを基盤の社会でなくなってしまいました。個人主義をベースの社会基盤に変えるということかな。
自宅介護している家庭への物心両面への支援の内容をしっかりと情報発信する。
遠くに出るのが大変な老人が目立つようになりました。ヨシヅヤは、撤退の気配ありますか。
高齢者のいこいの場をふやした方がいい。
少子化の世代、予算にも限りがあると思われるので、高齢者等の補助金、福祉もほどほどにした方が良いのではないかとと思われるが。